

# 花繚乱の

(昭和三十二年寮歌)

前島一淑君作歌・作曲

一

花繚乱の夢に酔い  
地の囁きの音に伏せば  
草淑々の声すなり

二

夜光流るる芝草や  
辛夷の花の香に迷う  
遠き憧れ逝にし日よ

三

窓辺に招く幻の  
影にあくがれ彷徨えば  
森に桂の火は燃えぬ

四

今紅の篝火よ  
裸形の友は肩組みて  
去り行く青春を惜しむかな

五

静寂甦りぬ春の宵  
銀漢の下希望なる  
支笏の湖に星は飛ぶ